



スフィーダ世田谷 FC
『第9回 宇奈根の渡し』運営サポート報告

2022年5月8日
多摩川河川敷

多摩川には昔、渡し舟があったそうです。多摩川の氾濫により、宇奈根地区が分断されてしまい、物資や人を運ぶために渡し舟が活躍していたそうです。そのため現在では川崎側と世田谷側の両方に、「宇奈根」という同じ名前の地区が存在しています。

2014年に宇奈根地区近くの喜多見児童館の子どもたちを中心に、地域の方が協力し、「宇奈根の渡し」を復活させ、第9回目のイベントが実施されました。

地域の大切な資源である多摩川で、渡し舟の乗船、遊覧体験を通し、子供たちに伝統を継承するイベントとなっています。

スフィーダ世田谷 FC は世田谷にある女子サッカーチームであることや、読み聞かせやブラインドサッカー体験会などの活動に共感を頂き、今回はじめて選手・スタッフ・ママさんで、お手伝いに参加させて頂くことになりました。

今年度は、無事にイベントを実施し、なんとか第10回に繋げたいという実行委員会の皆様思いから、新型コロナウイルスの対策を強化し、開催されました。

スフィーダ世田谷 FC の選手は、会場準備、子どもたちの誘導、来客の方の対応、自転車置き場の管理、会場の片付けなど、慣れない仕事もありましたが、スタッフやママさんと協力しながら、選手たちも楽しませて頂きました。また、会場では多くの方に声を掛けて頂きました。“頑張ってるね”“応援しているよ”という声を頂き、世田谷の皆様と交流できたことをうれしく思います。実行委員の皆様には、このような機会を頂いたことに改めて感謝いたします。

スフィーダ世田谷 FC は、今後も世田谷を中心に地域貢献活動を実施してまいります。(報告：加藤)

